

平成22年度上期 柏崎刈羽品質監査部 活動状況報告

原子力品質監査部 柏崎刈羽品質監査部

1. 業務品質監査（平成22年4月～平成22年9月実施分）

監査対象部門	監査実施期間	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項 等
総務部 建築（第一／第三）グループ	H22.4.26～5.13	監査対象業務として「排気筒耐震強化工事および避雷鉄塔建替工事の監理」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし 【良好事例】 安全事前評価を当社が主体的に安全計画をレビューする場と明確に位置づけ、BランクにおいてもAランク相当の審議を実施していたとともに、審議結果を反映した安全計画書を元請企業に作成・提出するよう管理していた。また、当社の現場立会漏れ防止のためのスケジュール管理などにより、的確な工事監理を実施していた。
広報部 企画広報グループ	H22.4.22	監査対象業務として「広報誌の発行」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし
広報部 サービスホールグループ	H22.4.19	監査対象業務として「サービスホール・展示物のリニューアル」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし
第一運転管理部 2号当直	H22.4.21～5.25	監査対象業務として「巡視点検」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし 【良好事例】 火災発生時に連携する1号当直B班と合同で当直自主火災対応訓練を実施し、反省点を見える化して改善方策を立案していた。さらには、南明隊および防護本部との連携も視野に入れた火災訓練を計画していた。
技術総括部 保安検査グループ	H22.5.20	監査対象業務として「保安検査官が行う業務対応」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし 【良好事例】 保安検査官とのコミュニケーションを通じて“問題点の芽”を感じ取り、その抽出結果を関係グループに伝え、早期に対応してもらうことで、早期の原因究明・対策立案や不適合事象の再発防止に繋がっていた。
第一運転管理部 第二運転管理部 作業管理グループ	H22.5.21～6.2	監査対象業務として「7号機当直作業工程管理（第9回定期検査）」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし 【良好事例】 デイリー工程表に「安全処置重要度分類」、「保安規定関連作業」、「水漏れ・油漏れ注意作業」等の要注意作業の色分け、「注意ポイント」を書き込み、安全ポイントの確認、メンバー間の安全コミュニケーションシートとして活用し、ヒューマンエラーの防止、災害防止に役立てていた。
第二保全部 電気機器グループ	H22.5.18～6.3	監査対象業務として「7号機定期検査における所内電源設備(6.9kV系・480V系)点検業務」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 定検プロジェクト体制の課題について対応箇所を明確にして改善を検討すること。
防災安全部 防護管理グループ	H22.6.11	監査対象業務として「防護区域・周辺防護区域への出入り管理」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 業務計画の目標（重要成功要因含む）のうち、特に成果が期待される事項や達成したい事項を考慮して品質目標に設定・識別すると共に、実績記録は適切に行ないPDCAの運用管理を確実にすること。

監査対象部門	監査実施期間	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項等
第二保全部 タービングループ	H22.5.25～6.14	監査対象業務として「7号機定期検査における複数元請企業間のエリア調整・工程調整」業務（同一箇所でも複数の企業が同時期に作業をする場合の調整）について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし
柏崎刈羽原子力人材開発センター 技能訓練グループ	H22.6.10	監査対象業務として「保全技量認定対応」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし
広報部 行政グループ	H22.7.22～8.12	監査対象業務として「安全協定に基づく通報連絡」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし
技術総括部 技術グループ	H22.8.27～9.1	監査対象業務として文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし
第二運転管理部 6 / 7号当直（C班）	H22.8.25～9.3	監査対象業務として「プラント監視」業務について確認するとともに、文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし
総務部 土木（第二）グループ	H22.9.1～9.14	監査対象業務として「高町跨線橋補修工事」業務（中越沖地震で損傷したJR越後線に架かる道路橋の補強工事）について確認するとともに、文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし 【良好事例】 前年度に目標を達成していたレベル3PI（各グループが管理する業務の目標値）についてもそのまま継続するのではなく、効果の確認がしやすい指標への変更やさらに高い目標設定に向けたアクションプランの見直しなどが行われていた。
第一運転管理部 燃料グループ	H22.8.6～8.19	監査対象業務として「使用済制御棒等の高放射性固体廃棄物の管理」業務について確認するとともに、文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 放射性固体廃棄物の移送のため、廃棄物の重量、バスケットの仕様等のデータを的確に管理すること。 【良好事例】 人材育成管理シートに、具体的に学習内容を明記し効果的に活用していた。 出力抑制試験手順の作成研修や、異物回収作業の直営化推進等の人材・現場力強化を実施していた。 使用済燃料号機間輸送作業の工程短縮やコストダウン、異物混入防止対策の推進による燃料破損のリスク低減活動を実施していた。
第一保全部 第二保全部 保全革新グループ	H22.7.26～8.5	監査対象業務として「状態監視による設備診断」業務（運転中の機器の振動や温度を測定して異常や機器の劣化の兆候を検知する業務）について確認するとともに、文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし
総務部 会計グループ 資材グループ	H22.9.7～継続中	監査対象業務として「貯蔵品管理」業務について確認するとともに、文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認中。	監査継続中
品質・安全部 品質管理グループ	H22.9.28～継続中	監査対象業務として「トラブル、不適合の再発防止対策の実施状況の確認業務」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認中。	監査継続中

2. 特別監査
なし

3. 平成21年度下期末，監査継続中等で監査結果が確定していなかったもの

監査対象部門/件名	監査実施期間	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項等
【業務品質監査】 品質・安全部 安全管理グループ	H22.3.26	監査対象業務として「プラント停止時安全処置管理」業務について確認するとともに，あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし 【良好事例】 地震後の復旧において保安規定，管理基準遵守の確認・検討に必要な評価情報やプラント状態を，各グループが安全管理Gや当直へ問い合わせることなく入手できるよう，所内イントラを通じて関係グループへ提供していた。 原子炉安全への取り組みの好事例を安全文化7原則を盛り込んで「安全管理G褒メモ」にまとめ紹介していた。また，安全文化7原則に照らした評価を取り込んだ「LCO逸脱ケーススタディ」を作成し，関係グループへケーススタディを実施させていた。
【業務品質監査】 第二保全部 環境施設グループ	H22.3.30～4.21	監査対象業務として「SPH(圧力抑制室プール水排水)系配管取替工事」業務について確認するとともに，あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし

以上